

がっこうとしょかん おすすめ本 (ていがくねんよう)



『だいすきっていいたくて』

カール・ノラック/文 クロード・K・デュボア/え
ほるぷ出版

ロウがめをさますと、くちいっぱいにすてきな
ことばがひろがっていました。ほっぺたがどンドン、
どンドン、かってにふくらんで…

『しずくのぼうけん』

マリア・テルリコフスカ/さく うちだりさこ/やく
福音館書店

むらのおばさんのバケツから、ぴしゃんとみずが
ひとしずくとびだした。しずくは、ひとりぼっちで
たびにでた。はじめてのたびがはじまった。

『たんたのたんけん』

中川李枝子/さく 山脇百合子/え
学研

8月29日のあさ。きょうはたんたのたんじょうび。
いきなり、まんなかに「た」とかいてある、白い
ふうとうがとびこんできた。たんたがはさみで
ふうをきると、中からでてきたものは一まいのちず
だった。

『にんきもののひけつ』

森絵都/文 武田美穂/え
童心社

はなのバレンタイン・デー。おなじクラスのこまつ
くんは、チョコレートを27こもらった。ぼくは
たったいっこだけ。ぼくはこまつくんのにんきもの
のひけつをさぐることにした…。